

## 見沼自然散策

2022.11.19



ケヤキの実

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



アカシデ



イヌシデ

◆風に実を預ける樹たち  
◆アカシデとイヌシデはよく似ているが、アカシデが細身・小ぶり。紙垂状に連なっていた実はひとつづつ離れて風に乗る◆ハンノキの小さな松かさの間に小さな実。乾燥した日、傘が開いて平たい実を風が運ぶ



ハンノキの実



ニシキギ

◆紅葉がきれいなニシキギは園芸種。枝にコルク質の翼が出るのが特徴  
◆ドウダンツツジも紅葉が目立つ◆コブシの冬芽はふかふかの毛におおわれている。大きなものは花芽、小さなものは葉芽。どちらも毛のコートで大事に包まれている



ドウダンツツジの冬芽



コブシの冬芽



チジミザサ



イノコヅチ

草むらを歩くとたくさんの実が服につく。チジミザサはべたべたした粘液でくっつく。イノコヅチは実がとんがり、刺さる。コセンダングサは種の先に返しについたとげをつけ、繊維に絡みつく  
様々な手段で種散布を企てる



コセンダングサ



チョウセンカマキリ卵のう



オオカマキリの卵のう

◆カマキリの仲間は卵で越冬。卵のうの形はそれぞれに違う◆クビキリギスは成虫で越冬

↓冬鳥がやってきた。お腹が黄色いアオジは「チッ」と鳴く。尾の長いエナガは常に動いている。

↓カイツブリは冬毛  
ヒドリガモもやってきた



クビキリギス



アオジ



エナガ



カイツブリ



ヒドリガモ